

第3回 企画委員会 議事概要

日 時：令和5年8月22日（火）10：00～12：00

場 所：2号館5階参庁議室

出席者：委員5名 アドバイザー1名

〈主な内容〉

■ひょうごフィールドパビリオンの第3次認定

委員等

- ・高齢者しかいないプログラムを、どのようにサポートするのも大切。サポートの役割を担う中間支援団体や市町にフィールドパビリオンの趣旨をしっかりと共有した上で、サポートを受け持続性を確保するかという取組が出てくると良いと思う。
- ・多くの認定プログラムが出てきているので、そろそろプログラムのマッピングや動線の整理等をする段階ではないか。

委員等

- ・多くのプログラムが出てきた中で、認定プログラムで今後の運営に不安が出てきた際の取扱について、議論したい。
- ・現時点では、認定取消の基準を設けていない。まずは取り消しの基準、要件の事務局案を示していただき、委員会で決めた基準に則った、取消の可否を決定すべき。

委員等

- ・期限を設けて、企画委員会を締め切りにする等して諮るという流れをつくるべきだ。

委員等

- ・「取り消し」は県からだか、「取り下げ」の概念についても検討すべき。「取り消し」のニュアンスは非常に厳しいもの。プレーヤーの同意があるのであればそれは「取り下げ」ではないか。先方の意向は取り組みたいのに、県がだめだというのが「取り消し」だ。

事務局

- ・基準の案について事務局で検討し、相談させていただく。

■ひょうごフィールドパビリオン磨き上げ研修

委員等

- ・磨き上げの一環としてプレーヤーが参加し、どのように2025年に向けて進めていけばよいのかを話合う場が必要である。
- ・サポート人材については、通訳等のテクニカルサポートができる人材発掘、プログラムの検討、ツアー化を行えるマネジメントサポートできる人材を発掘することがとても大事である。
- ・プレーヤー同士で磨き上げを進める仕組みが、研修やワークショップを通じてできた人の

繋がりで、点が面となり県全体へと広がるイメージを研修の中で作っていきたい。

委員等

- ・フィールドパビリオンという言葉だけが先行してはならない。いかにその意味や目指すところと目指す未来とを県民の方々に自分事と思ってもらえるか、万博という途中の目標に向けて前向きに取り組めるかが大事である。
- ・企画委員の意見を、共鳴する民間事業者や、県の諸機関と連携していけるかを磨き上げ研修プログラムとして、それを実現できればよい。

委員等

- ・企画委員会で蓄積してきたものの調査分析が必要。地域に根差したストーリーがうまく展開できている事例や課題解決の視点を提供していくべき。
- ・プレーヤー間をネットワーク化することを目的化してはならない。
- ・本業がある方に関わってもらうには、知見を得るために、何らかのモチベーション、インセンティブが必要である。

委員等

- ・ネットワーク化には、安心して継続して取り組めるメリットがあると思う。
- ・万博後もブラッシュアップできるという体制がベストだ。ネットワーク化については引き続き検討いただきたい。

委員等

- ・各地域の人は自分の地域のプログラムしか分からない。地域外のプログラムがどんなものかを見てもらえる余裕があるのかは分からないが、事前にフィールドパビリオンのモデル事業を早期に実成させ、各プログラムのキーパーソンに体験してもらう機会があればよい。座学だけでは分からないので研修プログラムでは現地実習が必要。

■アクションプラン Ver. 2 について

事務局

- ・ひょうごフィールドパビリオンの取組が、「SDGs 未来都市」、「自治体 SDGs モデル事業」に選定された。
- ・メディアとファムトリップの実施やフィールドパビリオンプレーヤーのネットワークの構築に関する事業を対象に補助金を申請しているので、今年度実施して行く予定。
- ・テーマウィーク事業について、協会の8テーマに加え、兵庫県として入れるべきであろう2テーマを挙げている。
- ・兵庫県独自テーマは「災害からの創造的復興」と「ひょうごの成長産業と地場産業」。
- ・11月30日は500日前ということで、昨年3月に開催した全県推進協議会の第2回を開催する予定。
- ・ premia・プログラムの発表については、11月30日に発表する見込み。
- ・交通ワーキングチームということで推進協議会のうちの交通事業者の情報を共有する場

を設けようとしている。万博に向けて交通をどうするのかという点で、議論の場を設け、その内容や今後の展開について発表いただく予定。

- 最後に、万博に向けた兵庫の取組の KPI について、経済効果として、FP の観光消費額目標値 550 億という数字を新たに記入した。

以上